

第2次隠岐の島町総合振興計画策定に係る 意見交換会

【日 時】：令和元年7月5日（金） 15時00分～17時00分

【会 場】：ふれあいセンター2階 第1会議室

【出席者】

- 「JAしまね隠岐青年連盟」の皆様
- 隠岐の島町役場
総合振興計画策定委員：的地主事 大上企画幹 斎藤企画幹 池田企画員
地域振興課：佐々木課長 黒川係長 泉企画幹

「JAしまね隠岐青年連盟」の7名の皆様にご参加いただき、「農業の現状」や「目指すべき農業振興のあり方」について、意見交換を行いました。

会の中では、後継者不足の問題や付加価値型農業の推進が遅れているなど、たくさんの貴重なご意見を頂きました。

①農業の現状について

- ・主食用水稻は、320ha耕作しており、認定農業者などの大規模農家は約8割耕作し、その他の小規模農家は2割を耕作している。牛の飼料として使われるWCSの栽培面積40ha。
- ・隠岐は青果物市場が無い。今年度から2年かけて島内での自給率をあげるため、農林水産課と共同でハウスのリース事業を実施。
- ・一部の農家では、閑散期にハウスの空いたところを利用して、トルコギキョウの栽培も行なっている。

② 目指すべき“農業振興”のあり方について

- ・農業生産の維持に向けた後継者の確保
- ・施設園芸等付加価値の高い農業の推進
- ・若手農業者へスムーズに引継が出来るような仕組みづくり
- ・離島のハンディを克服する販売戦略
- ・地産地消の仕組みづくり
- ・食を通じた観光魅力づくり



JAしまね「隠岐青年連盟」の皆様からいただきましたご意見・ご提言は、今後の計画の策定内容の参考にします。